



がん患者支援チャリティ・イベント

Relay For Life 2009

in Ashiya リレー・フォー・ライフ芦屋2009





みんな 熱 かった、みんな 素晴らしかった



リレー・フォー・ライフ 芦屋を 応援くださった全ての方へ



お陰さまでリレー・フォー・ライフ・ジャパン 2009 in 芦屋は大成功で終了することができました。来場者は2日間で約2千人に達し、会場での寄付金も100万円を超えました。

開会式は激しい雨にさらされましたが、この一年を心待ちにしていたサバイバー達のワークで幕を開け、途中からは雨もやんでルミナリエ・タイムやキャンドルランで夜を過ごし、翌日は快晴の中、子供達の元気な御神輿も加わってフィナーレを迎えることができました。参加者の方々からも、「今年も来て良かった」「来年の参加を目標にして頑張ります」とのお声が寄せられておりスタッフ一同、心から喜んでおります。

芦屋でのリレー・フォー・ライフは2007年から今年で3回目となりますが、不況による寄付・協

賛金減少やインフルエンザ騒ぎなど、昨年までとは違った難しさがあり、開催が危ぶまれる場面もありました。こうした中、延べ二日間という長丁場を無事に終了できたのも、ご来場下さった皆さま、地元協力団体の方々、ボランティアの方々、協賛・後援団体の皆さま、メディアの方々、全国からご支援下さった皆さまのおかげです。本当にありがとうございました。

日本全国のリレー・フォー・ライフは今年で4年目になりました。開催場所は2006年の1ヶ所から今年では14ヶ所に達するなど急速に拡大しており、ご参加ご協力くださる方々も、地元の方々、学生・企業 ボランティアの方々へと広がりを見せ、リレー・フォー・ライフの理想である「がん患者・家族・市民・医療従事者・行政・企

業など多数の想いを一つにし、社会全体でがんと向き合う世の中を目指す」という方向に着実に近づいている手ごたえを感じております。

とは言え、日本人の3人に一人ががんで亡くなる時代であることを思えば、まだまだ、がんに対する取り組み課題も多く、リレー・フォー・ライフ自身も、もっと身近な存在になっていく必要があります。リレー・フォー・ライフは市民ボランティアによるチャリティイベントです。応援くださる皆さん一人一人が参加者であり、イベントを作っていく力になります。今後とも応援くださいますよう、宜しく願い申し上げます。

リレー・フォー・ライフ関西実行委員会
スタッフ一同

※なお、皆さまから頂戴した寄付金等は、大会運営経費を除いて、財団法人日本対がん協会へと寄付させていただきます、がん患者向け無料電話相談等の活動へと活用させて頂く予定です。

大隅 憲治 リレー・フォー・ライフ 芦屋 実行委員長

芦屋でのリレー・フォー・ライフは、日本初の24時間開催となった2007年大会から、早いもので3回目を終えることとなった。この間、リレー・フォー・ライフの動きは各地へと急速に広がり、今年で開催場所は全国14ヶ所にまで広がっている。2007年に芦屋に集まった仲間が、全国各地でのリレー・フォー・ライフの中心メンバーとなっているのを見ると、改めて活動を継続していくことの大切さを実感している。

リレー・フォー・ライフが各地へと拡大していくと、それぞれの特色が出ていて非常に興味深い。地元の美味しい食材をバーベキューで提供している会場、大学との連携が非常に密接な会場、アットホームな手作り感に溢れた会場…

みな、それぞれに良さがあがり、芦屋大会にも取り入れたいと思うようなアイデアもたくさんある。

芦屋大会の最大の特色は、サバイバー以外の方からご支援が本当に手厚い点だ。今年度の芦屋大会にはなんと400名ものボランティアの方が集まって下さった。地元市民の方々、企業ボランティアの方々、学生ボランティアの方々…3年間継続してご参加下さる方や、新しくご参加下さった方も加わり、ボランティア・スタッフの数は増え続ける一方だ。市民ランナーが走ることでサバイバーを応援する「キャンドルラン」も芦屋独自の企画であり、そこから得られる寄付額も年々増える一方だ。企業協賛も、長引く不景気にも関わらず「リレー・

フォー・ライフだけは…」と皆様がお応え下さり、予定を上回る金額を頂戴することができた。

リレー・フォー・ライフはサバイバーが主役のイベントで、何よりも大切にすべきはサバイバーの方々に勇気と希望を持っていただくことだ。けれど、その運営はたくさんのボランティア・一般市民・企業・その他のご支援下さる全ての方の想いに支えられている。「日本ではアメリカ型のチャリティイベントは難しい」そう言われながら3年続けてきたけれど、サバイバーを一般市民が支える構図は着実に定着しつつある。支えて下さる皆様のご支援に心から感謝しつつ、その想いの重さを受けとめながら活動を続けていきたい。

中澤 清浩 リレー・フォー・ライフ 芦屋 実行委員会 (芦屋担当)

リレー・フォー・ライフには昨年からの参加となります。あるセミナーでの実行委員長の黒崎さんと黒崎さんのとの出会いがきっかけでした。急に設営用のテントが不足している、とのことでいろいろな方の協力のもと芦屋市内からテントを集め、設営するお手伝いをさせていただきました。

3回目を迎えた今年のリレー・フォー・ライフにも昨年同様テントの設営をはじめ地元芦屋の各団体、企業、個人に協賛や協力、ボランティアを依頼する役割を果たすこととなりました。その結果400名を超えるボランティアが集まり、芦屋市内での認知度の高まりを感じます。

リレー・フォー・ライフが各地へと拡大していく中、リレー・フォー・ライフへの芦屋市民の想いや

情熱が回を増すごとに確実に浸透していつていくことを体感する次第です。来年も芦屋市内各団体、企業、個人のみならず温かいご支援の意向が伝えられており、芦屋市民に支えられ応援されるイベントとして、ますます多くの方に参加いただけるものと確信しております。

リレー・フォー・ライフはサバイバーが主役のイベントです。サバイバーの方々に勇気と希望を持っていただくことが目的であり、この活動を一人でも多くの方に知っていただくことでがんという病気を克服できる社会を築くことができれば、価値のあるイベントとしてますます拡大していくことでしょう。

はじめは勢いのできるイベントも、回を重ねるごとにいろいろな問題がでて参ります。リレー・

フォー・ライフが各地に広がる中、成熟したイベントとして地元市民に歓迎され支援を得られるものになるかをリレー・フォー・ライフ芦屋はその真価が問われています。

今後も芦屋市民をはじめさまざまな団体、企業の方々のご支援のもと、リレー・フォー・ライフ芦屋が、芦屋らしい温かみのあるイベントとして成熟してゆく一助となることができればと考えております。

最後となりましたが、応援をいただきましたすべての方々に深く感謝いたします。本当にありがとうございました。

そして、来年もみなさまと芦屋で会えることを楽しみにしております。

» スタッフからのメッセージ

地元小学生やPTAの方々のご協力により、ルミナリエを1,500個も準備でき感謝。雨の中、ボランティアさんの懸命な作業により朝まで点灯させることができ、最後はお寺様のご厚意で炊上げ供養でき嬉しく思います。

八田 幸一

今年も、実行委員として参加できた事が一番良かったと思えることです。そして、来年も参加できることを目標に頑張りたいと思っています。いつまでもつかは、神様、仏様の世界にまかせて…。

山田 啓蔵

参加できませんでしたが、ルミナリエと絵本、募金を託しました。絵本を読んで頂いている動画を送って頂き、芦屋に足を運んだ気持ちになれました。想いを受け止め、心をこめて対応してくれたスタッフに感謝致します。

竹内 香

雨にも関わらずたくさんの方にご来場頂きました。感謝致します。生きる力が湧いてくるような開催がこれからもできればいいと思います。関わってくださった全ての皆さん、本当にありがとうございました。

佐々木 直子

» 収支報告

一般募金	1,118,043
キャンドルラン	1,073,354
ルミナリエ募金	396,050
企業協賛	880,000
Tシャツ等	383,870
屋台寄付等	125,182
自動販売機他	168,837
前期繰越	200,000
収入小計	4,345,336
大会運営費	2,124,391
事務局費	114,701
企画関係費	348,972
製作物費	819,227
会場借用費	61,000
会場設営費(テント費用込み)	363,822
会場警備費	123,375
ステージ演出・音響費	0
ルミナリエ費	42,085
食料費(ボランティア・エイド等)	251,209
諸経費	230,671
傷害保険	57,730
雑費(通信料・交通費等)	172,941
支出小計	2,355,062
特別支出	787,500
芦屋市総合公園グランド原状復旧費用	787,500
国際対がん協会寄付	43,400
日本対がん協会へ寄付	959,374
来年度活動費	200,000
支出総合計	4,345,336

» Special Thanks

後援

厚生労働省
兵庫県
芦屋市
姫路市
兵庫県医師会
芦屋市医師会
芦屋市教育委員会
特定非営利活動法人芦屋市体育協会

寄付

芦屋業平ライオンズクラブ
芦屋川ロータリークラブ
芦屋ハーモニーライオンズクラブ
ジブラルタ生命保険株式会社
親切会 関西支部

協賛

ヤンセンファーマ株式会社
あずさ監査法人
ジブラルタ生命保険株式会社
ファイザー株式会社
万有製薬株式会社
中外製薬株式会社
グラクソ・スミスクライン株式会社
ファイナンシャルアライアンス株式会社
ソニー生命保険株式会社
株式会社日本トリム
江崎グリコ株式会社
小林製薬株式会社
コカ・コーラウエスト株式会社
アストラゼネカ株式会社
株式会社三菱東京UFJ銀行
住友生命保険相互会社
株式会社フィッシングマックス

協力

特定非営利活動法人芦屋市民まつり協議会
有限会社トラストフードサービス
芦屋市商工会
MTC(メディカル・セラピスト・カレッジ)
市立芦屋病院
尊徳堂
芦屋市サッカー協会
赤塚治療院
特定非営利活動法人芦屋サッカークラブ
赤穂化成株式会社
芦屋市各コミスク
システムポリマー株式会社
アスレック【Athle-C】
株式会社ミトモータルプランニング
小山音楽教室のみなさん
株式会社ワシヨウ
有限会社DTPbasecamp
小倉恒子医師
特定非営利活動法人タッチカウンセリング協会
川上由美子さん(卵巣がんドラッグラグをなくす会)
PMOあしや
川上綾子さん(卵巣がん体験者の会スマイリー)
有限会社オリジナルプリント虹工房
神戸海星病院リフルーム(100エーカーの森)
手描きの小部屋
ソニー生命のみなさん
松正水産株式会社
清風学園高校のみなさん
芦屋東ライオンズクラブ
公益社ひだまりの会のみなさん
芦屋市社会福祉協議会
あずさ監査法人のみなさん
芦屋市民活動センター
神戸学院大学のみなさん
湖南村
芦屋学園のみなさん
吉芳
クレバ運送株式会社
株式会社シンエイアドエージェンシー
株式会社ミック
岸和田市 長光寺さん
NPO法人 HOPE★プロジェクト
市立芦屋病院
南芦屋浜病院
株式会社倅樹
しげむら整骨院

リレー・フォー・ライフ・ジャパン2009 in 芦屋にご支援・ご協力
ありがとうございました!

寄付のお願い

リレー・フォー・ライフ関西実行委員会は、活動に賛同
いただいた皆様からの協賛金によって運営されてお
ります。来年以降の継続的な運営の為にも、より多くの
皆様からのご寄付を受付しております。

振込先

郵便振替口座: 00970-0-319325
リレー・フォー・ライフ関西実行委員会

(※振込手数料はご負担ください)

■お問い合わせ リレー・フォー・ライフ関西実行委員会: Tel.0797-57-0007
ホームページ: <http://ashiya.rfl-jp.net/>